

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2012 September

09

Vol.554

03 【特集】 座談会 充実した学び合える支部例会づくり
キーワードはブロック会の充実

06 21世紀型 自立型企业づくり
『人を生かす経営』を目指して
～戦略は「鵜飼に学ぶ」～
日本ビルケア株式会社

09 中同協第44回定時総会 in ぎふ

10 物づくり、人づくり、地域づくり 20

11 ようこそ同友会へ / e.doyuリニューアル

12 9月行事案内

14 筑豊地区 中小企業憲章シンポジウム

15 第4回 理事会報告

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

はみだし Report

21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.06掲載)

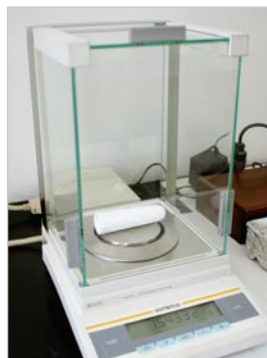


日本ビルケア株式会社
代表取締役
山田 秀樹 氏
(福友支部)

山田社長は、福友支部の中でも、体も、声も、態度(笑)もとっても大きく、その存在感は抜群です。同友会に入会して3年9カ月程ですが、同友会活動を通して、自ら率先して積極的に学び、従業員さんをも巻き込んで同友会を有効に活用されております。それゆえの存在感だと思います、決して体が大きいからではありません。そんな山田さんの好きな食べ物は、好き・嫌いほとんどなく、おいしいものであれば何でもOKです。あえて言うと、「旬な食材」という拘りです。座右の銘は、「苟日新、日々新、又日新」という言葉で、これは高校時代に知った中国の4000年前の教訓で、一日、一日を常に新たな気持ちで精一杯生きるという意味で、それを念頭に日々行動されているとのこと。最後に夢をお尋ねすると、将来会社の事業継承が済んだら、是非、東南アジアを中心とした海外の国々で、日本の美しい文化、建築の保全技術を知って貰える活動にチャレンジしていきたいとのこと。

記事：田中 伸介

今月の表紙



撮影：田津 昌昭

(有)日研は、環境計量証明事業を行う会社です。これは様々なプラントの煙突などから出される排ガスを測定・分析する計量器です。国の大気汚染防止法の中にある「ばいじん排出規制」では、1m³につき0.3g以下と定められています。それを0.01mg単位まで測る精度をもった機器です。



「私の逸品」 電子てんびん

(有)日研 代表取締役社長 末竹 哲 氏

「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真を公募いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成24年11月号は平成24年10月1日必着
投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵 送 先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
もしくは a_satou@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

※表紙に目次が入るため、写真に文字が入ります。ご了承ください。

Information

被災地同友会は、頑張っています!! vol.10

復興支援CD「SMILE AGAIN」義援金贈呈に福島同友会から御礼状をいただきました。

福岡県中小企業家同友会 様

2012年7月20日

福島県中小企業家同友会 理事長 安孫子 健一

御 礼

謹啓 盛夏の候 貴会、並びに会員役員の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。

さて、この度、中同協事務局様を通じて、貴会創立50周年記念事業として取り組まれた東日本大震災支援キャンペーンソング「SMILE AGAIN」CDの普及による義援金1,808,042円のご寄付を頂きましたこと、心より感謝御礼申し上げます。

あの震災から1年4ヶ月が経過しましたが、震災からの本格復興はこれからがいよいよ本番でございます。福岡同友会の皆様をはじめ全国同友の力強いご支援に勇気を頂きながら、人類史上経験の無い原発災害を伴う複合災害からの企業経営と地域経済の復興再生に全会一丸となって取り組んで参る所存です。

本来ですと、直接お邪魔して御礼申し上げるところですが、書面にて失礼することをご容赦ください。今後とも、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

謹白

※義援金贈呈の詳細についてはP9「中同協第44回定時総会報告」をご覧ください。

充実した学び合える支部例会づくり

キーワードはブロック会の充実

本年度の活動方針には企業づくり・経営者づくりの活動として冒頭に「充実した学び合える支部例会づくり」を掲げています。

具体的に「例会は自社の経営課題をもちより、経営体験の交流を通して学び合う場である」とし、

支部例会づくりについて詳細に方針を定めていますが、この方針に照らして各地区の支部例会の現状はどのようになっているのでしょうか。

司会

なかの まさし 中野 正志氏 株式会社福岡リロケーション 代表取締役 福岡地区会長 福友支部

出席者

やまかわ てるぎ 山川 輝樹氏 株式会社西日本ボーリング工業 代表取締役社長 福岡地区例会担当副幹事長 青年支部
 のうとみ てるこ 納富 輝子氏 有限会社一柳 取締役営業部長 福岡地区例会担当副幹事長 福友支部
 こばやし まさひろ 小林 正広氏 株式会社上津役製作所 常務取締役 北九州地区例会プロジェクト長 ひびき支部
 まつむら しげかず 松村 茂和氏 有限会社カーリスター 代表取締役 筑豊地区例会担当副幹事長 筑豊支部
 くらだ つよし 黒田 剛氏 株式会社総本家黒田家 代表取締役 県南地区会長 大牟田支部

【充実した学び合える支部例会づくり 2012年度県の方針】

- ①例会は自社の経営課題をもちより、経営体験の交流を通して学びあう場であることをしっかりと認識し実施する。
- ②同友会の支部例会は、原則として経営体験報告とグループ討議を基本としており、企画段階から支部役員が責任を持ち、支部例会開催3ヶ月前を目標に計画案を地区会に提出して、一層充実した内容になるように幹事会で学びあい、討議する。
- ③会員は県下で開催される支部例会へは、どこでも参加できることをPRし、参加しやすい雰囲気をつくる。開催日や開催内容の告知の仕方を工夫する。
- ④例会開催につき、1回以上のプレ例会を行い、グループ長・グループ発表者研修を持って報告内容や討論テーマを具体化する。
- ⑤「まとめ」の重要性を認識し、例会は「座長」を置いて同友会理念の学びを深めるものとする。また「室長」を置き、円滑な運営で学びが深まるようにする。
- ⑥例会への会員参加数や参加率、ゲスト目標など支部ごとに目標を定め、その達成に向けて日常訪問活動や連絡体制を確立してブロック会の充実を図る。
- ⑦例会のデータベース化を図る。



今回座談会に参加された皆さん
 向かって左から小林さん、中野さん、納富さん、松村さん、黒田さん、山川さん

中野 「例会づくり」においてまずみなさんの地区での役割や支部で

お感じになっていることをお聞かせください。

納富 福岡地区では幹事会の時に、各支部の例会を一覧表にしています。プレ例会は8割くらい、体験報告も8割くらいできています。何を学ぶかを明確にしてから報告者を決めています。

小林 北九州地区では今年からは基本的に北九州支部・ひびき支部がそれぞれ独立して開催するようにしています。また年間のテーマを決めるようにしました。労使見解の次は経営指針作成というようにストーリーを持たせています。テーマに合った支部の会員さんに体験報告していただいています。学び合うという点では外部講師や他支部の方にお願ひする場合があります。

松村 筑豊支部では、以前は役員会

主体で年間スケジュールを報告者を含めて決めていました。今年に変えました。県の年度方針に沿った形で年間テーマを決めて、例会づくりをブロックに担当してもらうようにしました。

黒田 県南地区では各支部がプレ例会をしています。大牟田支部でも室長・座長を置いて取り組んでいます。e・doyuの出欠回答率は高くなっています。さらに出席率を高くするためには、会員訪問や電話などで「声をかけること」が大切なかなと思います。各支部ともゲストを動員しており増員につながっているようです。

山川 支部の活性化は例会を充実させることです。例会に会員がどう関わるかです。いい企画をすれば自ずと人は集まってきます。青年支部では私が支部長になった時に会員にリサーチを掛けました。例会でどんなテーマを取り上げてほしいか。会員は40歳以下ですから後継者として経営者の第一歩として、経営スキルを上げたいという声が多かつ



山川 輝樹氏

たです。そうした会員ニーズに合ったテーマにしていることが、例会出席率が高いことにつながっていると思います。



中野 正志氏

小林 北九州支部では例会活性部の役員がテーマを決めて、ブロックが運営に当たります。ひびき支部は例会プロジェクトでテーマを提言し、役員会で協議します。プロジェクト

の中にベテラン会員さんがいて「斬新なことでもいいよ」と言われて企画すると「それは同友会ではないよ」と言われます(笑)。同友会というものをお教わっているところです。

松村 例会をつくり上げるプロセスも学びだと思うんです。目的からズレた時には修正をします。嘉飯支



松村 茂和氏

部では、若い世代が熱心です。先日、も福友支部の中村支部長にお願いしたグループ長研修に積極的に参加していました。会員さんにはぜひ役員になってほしいと思います。役得ありますよ。特に例会を担当するブロック長さんは『華』になってほしいです。

黒田 県南ではテーマ選定は各支部によって違っています。運営はブロックです。



黒田 剛氏

納富 福岡はテーマの決め方は支部によって違っていますが運営はブロックです。ブロックという小さな単位で例会をつくり上げようということが同友会の学びのエッセンスだと思います。ブロック会で計画し討論を重ねていく。それが座長のまとめにも反映されていくと思います。

中野 ブロック会を固めていくことがいい例会づくりに影響しているようにですね。例会に何を求めているかをもう少し聞きたいのですが。

山川 先ほどお話ししたリサーチでは、戦略・財務・事業継承・経営指

針など経営課題について勉強したいという声が多かったので、それをすり合わせてブロックで例会づくりするようにしました。テーマにあった報告者を選んでいきます。

小林 会員の経営体験報告が基本ですが、お互いを知るという意味で年に一回自己紹介の異業種交流の例会も開催しています。

松村 テーマに見合った報告者選びという点では、他支部にも出かけて探しに行ったりもします。

黒田 年代によって取り上げてほしいテーマに温度差がありますね。座長のまとめについても、こうあるべきだというよりも、まず人の発言をよく聞くことです。まさに学び方を学ぶということですね。

中野 合同例会により、お互いに学び合い新しい風を吹き込むということがありますね。

納富 興味のあるテーマなら他支部でも出かけて聞きに行きたいですよ。

中野 参加率についてはどう考えますか。

納富 福友支部は参加促進はe・doyuだけでなく、各ブロックで連絡網があり電話しています。

山川 青年支部は出席率が高いです。当然グループ長が担当ブロックだけでは足りなくなりますから他ブロックの方に協力をお願いして



各地区の状況は様々で、それぞれの取り組みを取り入れようと熱心に話が飛び交いました。

います。いろんな会員さんを巻き込んで行くんです。そうすると「今回の例会の中身はすごい」とPRしてくれるんですね。例会が役員中心でなく、担当ブロックを中心とした会員全体でつくられていきます。これが強みですね。

松村 ブロック会に会員を巻き込まないといけませんね。どんどん電話して参加してもらいましょう。まず会員間でのコミュニケーションです。いろんな方法があるでしょう。**納富** 会員訪問してブロック会への参加を呼び掛けているブロック

長さんもいます。本音で語る、実際にそんなブロック会をしたことがあります。

小林 北九州でも自社の経営課題を話して「私はどうすべきでしょうか、知恵を貸してください」という場面がありました。

黒田 3ヶ月前からブロック会で準備をしてきています。例会のグループ討議でほんとに十分に話せているのでしょうか。消化不良になって



納富 輝子氏

いませんか。例会を終えてまたブロック会に持ち帰ってさらに掘り下げてはどうかと、私はいつも言っています。

小林 例会の後の懇親会で会員さん同士が意見交換して、さらにお互いの会社を訪問するなんてこともあります。



小林 正広氏

中野 会員さんからは例会でインプットされたことが自社に持ち帰って反映されているかどうか『検証』

が必要だという声があります。

松村 毎月の例会でアンケート取っていますが、有効利用すべきですね。

山川 地区や支部で温度差があるということがわかりました。合同例会にしても、自分の支部の課題を解決する支部と組むというのも一つのやり方ですね。

中野 福岡同友会は支部が活性化して大きくなったという背景があります。それぞれの支部のいいところを考慮し同友会理念に則った例会の標準化も考えなければいけません。『いい例会づくりはブロック会の充実が要』というのが今日の結論としましょう。ありがとうございます。

原稿担当 菅原 弘
写真担当 佐藤 愛

各支部例会参加状況

支 部	2012 年度 期首会員数	2011 年度 平均参加率
東	206	32%
福博	100	33%
博多	144	31%
中央	158	26%
西	75	22%
南	155	26%
筑紫	94	34%
福友	257	28%
青年	119	42%
玄海	100	38%
かすや	40	31%
北九州	161	26%
ひびき	49	31%
筑豊	49	36%
嘉飯	70	47%
久留米	105	27%
大牟田	55	34%
有明	43	25%
りょうちく	23	70%
合計	2003	

『人を生かす経営』を目指して

戦略は「鵜飼に学ぶ」

経営する中で幾度かぶつかった壁は『人』の問題でした。
この度のリーマン・ショックでは売り上げが半減、
人員も削減せざるを得ませんでした。
その時経営者はどのように方向転換を図ったのでしょうか。



日本ビルケア株式会社

代表取締役

や ま だ ひ で き
山田 秀樹 氏

福友支部

創業 2001年8月
住所 福岡市博多区神屋町4-5 KS 神屋町ビル5F
電話 092-263-0060
社員 14名 パート1名
<http://www.n-builcare.jp>

建物の『健康』と 『美しさ』を追求

日本ビルケア(株)の社内中央にある大きなテーブルを囲んで取材が始まりました。「私どもは業種的には建設業になります」と山田秀樹社長が切り出しました。「建設というと新築をイメージされるでしょうが、私どもは建物の維持・保全を業務としております。大きなビル、高層ビルの改修工事得意としています。ビルメンテナンスとよく混同されますが、使用されているビルの『屋根と壁の工事』に特化しています。木は腐る、鉄は錆びる、コンクリートはひび割れる、これが原理原則です。いかに劣化に対処するかです」。日本は高温多湿の風土の上、建物は紫外線や風雨にさらされ、また地震国

取材 月刊同友編集部
文章 菅原 弘
写真 佐藤 愛



でもあり過酷な条件が揃っています。「水漏れなどの兆候が表れたら、当面の対応はもちろんのこと、10年先を見越した提案をしています。新築時同様さらにはそれ以上の機能を持たせること、建物の『健康』と『美しさ』を追求することが私どもの使命です」。

業界における注目

「かつてコンクリートは壊れないという神話がありました。しかしそんなことはありません」と山田さん。この改修工事が注目を集めた事故がありました。平成元年11月北九州住宅整備公団の建物で、タイル張りの外壁が3.5m×5mの一枚板の状態で31mの高さから落下し、通行人3名を死傷させるという事故が発生しました。これに対して官民連帯共同研究プロジェクトが組織され改修工事共通の仕様書を作成することになりました。剥落の恐れのある瑕疵損害についても規制が厳しくなりました。

「改修というのは本来建てたゼネコンさんの仕事なんです。しかしゼネコンさんは建てるのは得意ですが改修はあまりやりたがりません。そこで私どものようなところが下請けとして工事するわけです。競争相手として、防水業者や塗料業者がありますが、仕様提案や改修設計など文書における総合的なご提案をすることで差別化を図っています。もちろん現場屋ですから結果があつてナンボの世界です。いい結果を出さなければリピートはありません」。

山田さんの歩み

山田さんは佐賀に生まれ、福岡の

大学を卒業して福岡のゼネコンに7年ほど勤めます。この期間に新築工事を学びノウハウを修得したといいます。技術畑を歩んできた山田さんは、営業を含め一貫した仕事をしたと考えてようになりました。そんな折、建設関連会社の事業部長と出合い『ランチェスター理論』や『マーケティング理論』を知りました。「経営にも理論があるんだ」とその会社の福岡支店に就職。すぐさま東京本社に転勤し、そこで13年働きました。そこでは新築とは異なる改修工事の奥深さを学び、その後事業部長を任せられ多くの部下を持つ事になりました。ある時、取締役会での報告の中で部下に関して軽率な発言をしたことがありました。社長から「君は社員をどう考えているんだ」とこっぴどく叱られたそうです。「人」について深く考える機会になりました。

40歳を過ぎ、福岡に戻ることにした山田さんは知り合いが経営しているゼネコンに転職しました。その会社では事業計画というものがなく、社長にそのことを指摘し、結局山田さんが作成したのですが、ついでの人事案(リストラ案)まで進言したのでした。「社長から『お前は即刻クビだ』と言われましたね」。ここでも「人」に関する問題がきっかけとなりました。

「葛藤は一晩だけでした。翌日に

は東京に飛び、古巣のオヤジ(前職の社長)を訪ねていました。そこで言われたのが「じゃあ山ちゃん、自分でやればいいじゃん」の一言。「その手があったか!」と目からウロコでした。その社長はすぐさま人事部長、経理部長、総務部長を呼んで会社設立のアドバイスをさせたのでした。「翌日には登記していました」。建設業許可は時間がかかったものの、仕事は順調に滑り出し「初年度から黒字でした」。今から11年前のことです。

同友会との出会い

平成20年山田さんは同友会に入会しました。きっかけはフォーラムの参加だったと言います。「自分なりに経営の勉強はしてきたつもりでしたが、フォーラムに参加してびっくりしました」。同友会が提唱する経営指針書の深さに驚き「どうやったらかれが作れるんだろう」と思ったそうです。即座に『あすなる塾』を受け、『経営指針作成セミナー』も受講しました。「末政先生に徹底的に鍛えていただきました」。翌年には経営指針書発表会の支部例会報告者となりました。「同友会の真髄を感じたのは愛媛の全国大会(第2回人を生かす経営全国交流会INN愛媛)でした。ある会員さんが『人を生かす経営(中同協編集発行)』をボロボロ



社内中央の大きなテーブル。朝礼、研修などコミュニケーションの必須エリア。



朝礼では経営理念の読み合わせをします。いつでも目が届くよう天井に手作りの理念板を特設。

になるまで読み込んでいらつしやうて熱く語るんですね。私も薫陶を受けました」。幾度と無く『人』との問題に直面してきた山田さんですが、

このとき経営の考え方が変わったと言います。それ以来山田さんも『人を生かす経営』を繰り返し読むようになりしました。「毎回線を引く箇所が違ふんですね。今では全文、線が引かれています」。こうして労使見解をより深く学ぶようになりました。「同友会には週に8日くらい行っていた時期もありますよ(笑)。社員を生かすためには、経営指針書を作成・実践する、社員をパートナーと捉え高い次元で協調するという考え方がありますが、一番重要なのは社長の経営姿勢だと気づかされました」と語ります。「社員は幹部の、幹部は社長の、『人』を見て育ちます。だから社長は自己研鑽しなければ社員が生きない」と。

迎えた リーマン・ショック

スーパーゼネコンの下請けとして、業績は順調に推移していきました。親会社の黒衣(くろこ)として営業協力し、全幅の信頼を得ていました。スーパーゼネコンと付き合うことで、最新工法や業界動向などの情報が得られるほか、高いレベルの技術が求められるので、結果自分たちの研鑽の場になると言います。「今があるのはそこで育ててもらったからです」と山田さんは言います。

お客様探し

しかしそこで迎えたリーマン・ショック、スーパーゼネコンの対応が根底から変わったと言います。大幅なコストダウンを迫られるとともに、生産以外のことは提案も付加価値も不要だと言われるのでした。売り上げは半減、さらに人員の削減を余儀なくされるのでした。ここでも『人』の問題に直面するのです。

悩み抜いた山田さんは方向転換を決断します。「ゼネコン依存比率を下げる」即ちオーナー様と直接の取引を始めることにしました。従来の大きなビル・高層ビルはゼネコンやオーナー会社の本社(東京)で決まっている物件です。地元福岡で新たに『お客様探し』をしなければなりません。「一年間はお客様探しとアイテム(企画提案書など)づくりで終わりました」。なかなか福岡のオーナー様に会うことができませんが、次第に直接オーナー様と出会える接点があつてきました。それを山田さんは次のように例えてくれました。「以前はゼネコンが魚(仕事)をくれるのを待っていたんです。魚を料理するのはうまかったですよ。もちろん嘴(くちばし)を黄色くしたり、他よりも大きく開けたりする努力はしました。しかしこれからは自分で魚を獲らなけ

ればいけないと思いました。でもすぐには魚を獲ることができません。ならば魚を獲るのが得意な『鵜』と仲良くなるう、いつそのこと『鵜匠』になろうと考えました」。地域のオーナー情報を持つている設計事務所・不動産などをターゲットとして営業を展開してきました。また既存の建物は新築と違って、マーケティングができるのもメリットです。こうして同社は実績を上げ、ゼネコンの依存率を下げていきました。「これからは同友会での学びを実践していく本番です」と山田さんは語ります。

いっぱい 『ありがとう』を

取材の最後に山田さんの考える自立型企業について伺いました。「地域が一つの単位になると思うんです。自分の目が届く範囲で。その中で例えばパン作りが得意な人はパンで地域の人を幸せにする。クリーニングが上手な人はクリーニングで近所の人に貢献する。地域においてなくてはならないオンラインワンの会社、それが自立型企業だと思います。私どももなくてはならない会社になって、お客様からいっぱい『ありがとう』をいただきたいと思っています」。

取材協力ありがとうございます。

中同協第44回定時総会 in ぎふ

中小企業の活力と絆で復興を担い 日本と地域の再生を創りだそう

7月22日、23日、中同協第44回定時総会が岐阜市内で開催されました。全国の同友会から1,163名の会員が参加し、福岡同友会からは26名が参加しました。本総会は議案提案の後、16の分科会に分かれ熱心な報告とグループ討論が行われましたが、そのうち第11分科会を福岡同友会福友支部支部長の中村美賀子氏が報告しました。また、本総会では福岡同友会が50周年記念事業の一つとして行った東日本大震災復興支援キャンペーンソングCD「SMILE AGAIN」の義援金贈呈が行われました。

◆第11分科会

自信を持ってお願いできる支部づくり

「会員の輪拡大とMake福友Happyで会員企業繁栄」

報告者 (株)メリーグラフィス 代表取締役

中村 美賀子氏
(福友支部支部長)

- 今回の報告では、増強131ヶ月(11年)連続入会記録が続いている支部活動について報告され、なぜ福友支部が増強活動を活発に行っているのか大きく3つのポイントが話されました。
- ①歴代の支部長が会員拡大に確固とした意思を持って取り組んだ。
 - ②女性会員が増加し会活動が和やかにになり、多くの会員を紹介している。また、女性会員がのびのび活動できるよう会運営が工夫されている。
 - ③会員増強に対する仕組み作りができ、それがしつかり浸透している。
- これらを柱にして、同友会運動の中心である「人を生かす経営」が支部運営の中で実践された経緯を報告し、特に役員が同友会の存在意義を考え、自社に落とし込むことが大事と話されました。



第11分科会 中村支部長報告の様子

◆東日本大震災復興支援キャンペーンソングCD 「SMILE AGAIN」 義援金贈呈

目 録

福岡県中小企業家同友会創立五十周年事業として

一、東日本大震災復興支援義援金

金 五百四拾貳萬四仟百貳拾貳円也

一、東日本大震災復興支援キャンペーンソング

「SMILE AGAIN」CD 老百参拾六枚

お贈り申し上げます。

平成二十四年七月十三日

福岡県中小企業家同友会

代表理事 中村 高明

代表理事 中山 英敬

代表理事 田浦 通

中小企業家同友会全国協議会

会長 鋤柄 修 様

付 記

福岡県中小企業家同友会創立五十周年記念事業として
東日本大震災復興支援キャンペーンソング
「SMILE AGAIN」CD普及と義援金募集を
行いました。

目録の品、岩手県、宮城県、福島県各同友会に贈呈方
お願い申し上げます。

尚、東京、埼玉、愛知、富山、大阪、京都、奈良、
岡山、広島、鳥根、熊本、大分、長崎、佐賀、宮崎、
鹿児島、沖縄同友会よりご支援頂きました。

御礼

去る7月13日、岐阜で行われました
中同協第44回定時総会に於いて、
実行委員の納富輝子さんと共に「目
録「付記」を鋤柄中同協会長に贈呈

致しました。会場の皆さんから「総会の最後に福岡より素晴らしいプレゼント感激しています」や「私も買ったCDがこんな形で震災への支援になったのですね」など、たくさんの感想をお聴きしました。その後、中同協より岩手、宮城同友会各々に180万8040円、福島同友会に180万8042円が贈呈されました。7月末に三同友会よりお礼状が届きました。これをもちまして、福岡同友会創立50周年記念事業「東日本大震災復興支援キャンペーンソングCD「SMILE AGAIN」の普及と義援金」を終了致します。皆様の熱きご支援とご協力に対し心よりお礼申し上げます。

「SMILE AGAIN」CD推進実行委員長
中村 高明
(中村 高明)



総会の最後に義援金を贈呈する様子



蘭で笑顔と感動を

花神社

代表 吉村 和義氏（青年支部）



今回は糸島市で蘭を中心とした花の販売をしている『花神社』を紹介します。代表の吉村和義さんにお話をお聞きました。

糸島は蘭の名産地

贈り物などに喜ばれ、ひととき高級感と存在感をはなつ胡蝶蘭をはじめ、糸島市は福岡県内でも有数の蘭の産地として有名です。華やかさは対照的に蘭の栽培はとても難しく、開花までに長い年月を要し、専門の技術と生産者の努力が必要とされ、花が咲くまでに約3年～8年の時間がかかることもあると言われます。

蘭農家から販売店へ

ご実家が蘭農家ということもあ

り、栽培経験と高い専門知識を強みとし、蘭を中心とした『花神社』を平成18年に創業されました。品評会では入賞経験も持つ吉村さんは、蘭を苗から育成し蘭農家に販売したり、栽培の技術指導をされていたそうです。名産である糸島の蘭を高品質・産地直送にこだわりをもって販売していらっしゃいます。

オーダーメイドの蘭

一般的に見る蘭だけではなく、花神社ではお客様の要望に合わせてオーダーメイドでの蘭のディスプレイ用アレンジ、鉢植えをなどの製作もされています。福岡県内



オーダーメイド胡蝶蘭



ガーデニング蘭



蘭栽培風景

ではオーダーメイドでの製作が出来るお店は少なく、自社の強みであると吉村さんは話されています。蘭は見栄えの豪華さから心を豊かにする花とも言われ、お客様をお迎えする場所や贈り物として好まれることも多く、贈る人の気持ちと贈られた人の気持ちを大切にしたいと難しいオーダーメイドの製作にも力を注がれています。

社名の由来

『花神社』という社名は、花を祭った神社が全国的に少なく、花に携わる者として花に感謝をしたい、花を祭った神社を作りたい！という生産者だった

お父様との夢があり、吉村さんの花に対する愛情と親子の絆が起業の際に実現すること

なりました、と熱く語ってくださいました。

近頃では、花のストックを置かず出来あがったアレンジフラワーや予約注文専門の街の花屋さんを見かけることが多くなりました。吉村さんも、次世代型販売店としてディスプレイ用モニターだけを置いた予約専門型の販売店を作ってみたい・・・また、将来の展望として、糸島の食材を使い、花に囲まれて食事が出来るレストランを作ることが今一番の夢だそうです。美味しい料理と心を豊かにする花に囲まれた癒される空間が出現する日が楽しみです。

花神社

糸島市志摩町稲留146-1
TEL 092(327)0600
FAX 092(327)0600
蘭の直売・ガーデニングに花束やブーケの製作もしています。

取材・撮影 広報情報室 柏 亜耶

武富 健一郎

WELCOME Fresh our partners

新入会員ご紹介

ようこそ
同友会へ



司法書士 梶原美保事務所

不動産登記・法人登記・自己破産・
任意整理・過払い金返還請求・
成年後見等

福岡市西区下山門4-14-25
TEL 092-883-3990

代表者 かじわら みほ 梶原 美保 (福博支部)

3月に入会いたしました司法書士の梶原美保と申します。当事務所は、不動産や会社設立等の登記業務や借金問題、成年後見申立等、法務局、裁判所等に提出する書類を作成したり、代理したりすることを主な業務としております。同友会には先輩司法書士の岩永加寿美先生の勧めで入会を決意致しました。異業種の先輩経営者の方々に温かく迎えていただき本当に感謝いたします。今後ともよろしくお願いいたします。



株式会社 花村

オーダーメイドの紳士服と
呉服の販売と貸ビル事業を
行っています。

福岡市博多区上川端町1番5号 福岡花村ビル2階
TEL 092-291-8760
<http://www.kimono-hanamura.net>
<http://www.hanamura-fukuoka.net>

取締役 はなむら きぬよ 花村 絹代 (福友支部)

博多の中心、川端で商売をさせていただいております。いつもお伺いする入江豊香園の社長様に、何かお勉強されていることがありますか？とお尋ねしたところ、同友会を紹介していただき、3月に入会いたしました。

入会して間もないのですが、皆さんの体験や意見を聴くことができ、感謝しています。

今後は同友会での勉強を通して、より一層お店を発展させていきたいと思っております。

e.doyuがリニューアルされます!!

2006年5月に福岡同友会全会員へ導入されたe.doyuは、行事案内や出欠席の回答など、私たちの活動を円滑に進めるための組織活動支援システムとして大いにその役割を担っています。近年ではSNSや企業変革プログラムの登録システムなど、組織活動支援に留まらない企業経営支援システムとしても有効に活用されています。

今回、さらに充実して利用いただくためにe.doyuがリニューアルされます。リニューアルの大きなポイントは、

- ① 動作のスピードアップ(フォームが洗練されスムーズな利用が可能となります)
- ② SNSの充実(twitterやfacebookとの連携登録も可能になります。)

新しいe.doyuについて **9月20日(木) 14:00(同友会事務局会議室)**より説明会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは事務局まで。

〈 訃 報 〉 謹んでご冥福をお祈りいたします。

東支部所属の 入佐健太郎様〔システムワーク 代表者〕が、7月30日にご逝去されました。

中央支部所属の山崎 芳子様〔山崎芳子税理士事務所 所長〕が、8月1日にご逝去されました。

福博支部所属の永野 雅紀様〔(株)南王 代表取締役〕が、8月3日にご逝去されました。

名誉会員の 川添 隆助様〔川添物産(株) 代表取締役会長〕が、8月11日にご逝去されました。

「人材育成」や「経営指針作成」、「労使問題」や「新商品開発」「営業力」など、経営者の悩みは尽きないものです。しかし、一人で悩んでいてもなかなか解決の糸口が見つからないのではないのでしょうか？ そこで今回の例会は、テーマごとにテーブルを分けて「グループ討論」を徹底して行います。同じ悩みを持つ者同士だからこそ、知識や情報を共有しませんか？

19 水 18:30～21:00

**南支部
9月例会**

ビジョンを活かす経営とは？

- 天神ビル11階 福岡市中央区天神2丁目12番1号 ☎0120-323-920
- 清家 政彦氏 セイワシステム株式会社 代表取締役社長（南支部）

事業継承を通じ学んだ、古参従業員との関係（労使見解）や新規採用（求人教育）そして経営指針書の浸透。これらを進めるために清家氏が考えの軸としたものとは？比較的スムーズだったと思われる事業継承の裏には、こんな秘話が…清家氏の経営体験報告を基に、自らの経営指針を日々の活動に活かす行動や、全社一丸となるまでの道のり等話を話して頂きながら、リーダーとしての根源的部分について、大いに語って頂きます。

20 木 18:30開会

**ひびき支部
9月例会**

「中小企業では無理！と諦めていませんか？」 業界をリードするビジネスモデルの構築とその情報活用法とは？

- ニューハートピア 北九州市八幡西区岡田10-10 ☎093-645-0012
- 春田 統一氏 株式会社 春田建設 代表取締役（嘉飯支部）

「建設を通じて人を育てよい企業として育ち地域社会に貢献しよう！」理念に基づき人（お客様・社員・地域の人）が喜ぶと言うことはどういう事かを考え行動する会社作りにはチャレンジしている春田氏。本当に感動を与えることの出来る住宅建設事業を通じて地域社会にどの様に貢献して行くのか？自社の目的とその本質を見抜き新たなビジネスチャンス構築する春田社長の取組みに迫る。

20 木 18:20～21:00

**筑紫支部
9月例会**

小さな会社の生き残りは、情報収集力とその活かし方

- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
- 金子 信博氏 西日本オイルマシナリー株式会社 代表取締役（筑紫支部）

金子社長は毎年アメリカでの最先端情報の収集だけにとどまらず、韓国・台湾の情報収集を怠らずに、国内の事業の修正を行って来ました。その活動の中から、既存の商材を変えることなく仕事量を増やし、やり方や提案方法を変えることで、大手が参入しない事業に進出しています。

20 木 18:30～21:00

**中央支部
9月例会**

時代は、「アライアンスビジネス」

強みを持った同士がつながるに学ぶ、人脈の作り方、生かし方、ビジネスチャンスの創り方

- 天神ビル11階 福岡市中央区天神2丁目12番1号 ☎0120-323-920
- 永江 将丈氏 株式会社イクスメディア 代表取締役（中央支部）

ビジネスマッチング等、企業連携を支援することを事業化し、自らが開催する異業種交流会に3年間で、延べ3,000人もの人員を動員してきた株式会社イクスメディア 社長 永江将丈さん。今回の例会では永江さんに、「つなぐ」をテーマにした、ユニークな視点からの事業展開、そして異業種交流会の開催の内容について報告していただきます。

20 木 18:30～21:00

**西支部
9月例会**

経営指針の活かし方と初めての経営指針発表

- 天神ビル11階 福岡市中央区天神2丁目12番1号 ☎0120-323-920
- 小柳 博隆氏 株式会社福岡植木 専務取締役（西支部）
- 大山 次夫氏 株式会社イワキ製作所 代表取締役（西支部）

20 木 18:30～21:00

**嘉飯支部
9月例会**

人財探しは宝探し!! 未来を託す仲間を求めて

- バドドウ・ル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
- 光本 智恵子氏 株式会社すこやか工房 代表取締役（東支部）

同友会においても人事・教育関係に力を注がれている光本さん。会社創業当初から「会社を成長させるのは人だ!!」という考えから人事戦略に注力してきたそうです。今日までに構築されてきた「人財を育てるシステム」は明日から活用できる情報満載です!! 10年後に私たちの会社は存続しているのか…？ その答えは人事戦略の中にあるかもしれません!!

21 金 18:30～21:00

**福友支部
9月例会**

愛され続けるために「守るべきもの」

- TKP天神センター（福岡天神センタービル8階）
福岡市中央区天神2丁目14番8号 福岡天神センタービル8F ☎092-720-8003
- 菊地 裕子氏 株式会社 きくち 代表取締役（福友支部）

太宰府で梅が枝もちを販売して、61年目の株式会社きくち。祖母、母から梅が枝餅屋を引き継ぎ、3代目の社長として経営をしている菊地裕子さん。太宰府の味として、愛され続けるために先代から受け継ぎ守ってきたものとは何か、また時代に合わせ、変えるべきものは何か、更に次世代に何をどのように伝えていくのかをお話して頂きます。

24 月 18:30～21:00

**女性部委員会
9月勉強会**

- GGソーラービル 福岡市中央区天神3-4-9 ☎092-714-0451
- 光本 智恵子氏 株式会社すこやか工房 代表取締役（東支部）

24日-26 水 15:00～17:00

**福岡県中小企業家同友会
希望者全員65歳雇用対策セミナー**

65歳まで希望者全員雇用に変わります ～高齢者雇用でイキイキ企業!! 安定企業に!!～

【筑豊会場】24日(月) 15:00～17:00 ※セミナー終了後、個別相談を受け付けます。

- 飯塚研究開発センター 飯塚市川津680-41 ☎0948-21-1150
- 鶴留 舞氏 鶴留社会保険労務士事務所（筑豊支部）

【福岡会場】26日(水) 15:00～17:00 ※セミナー終了後、個別相談を受け付けます。

- 福岡県中小企業振興センター 302会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
- 大塚 哲也氏 大塚社会保険労務士事務所（福博支部）

待った無しです。対策を考えましょう！ ●就業規則の変更 ●人事処遇の考え方（給与体系・役職・勤務等） ●奨励金の活用 ●個別相談室

25 火 9:00～17:00

**企業連携推進委員会
FAST9月例会**

『水素エネルギー施設見学会』

～近未来に実現する、夢の水素エネルギー、最先端施設を見学～

- 九州大学 伊都キャンパス内 他 福岡県糸島市富915-1（糸島リサーチパーク）他
 - 9:00 日銀天神支店前 出発 14:30 伊都菜彩 その他 視察
 - 10:30 見学、意見交換会 15:30 糸島出発
 - 12:00 キャンパス食堂で食事 17:00 日銀天神支店 到着 解散
 - 13:00 南風台（水素タウン）へ移動 ※スケジュールは変更する可能性があります。
- 今回は、世界に唯一の九州大学の最先端施設を見学します。未来を先に取り、自分の事業に結びつけて連携する。そんな「中小企業の水素エネルギー利用技術プロジェクト」をFASTで立ち上げて、水素社会の定着を实践する計画をしています。そのためにも、是非、今回の施設見学会に参加してみてください。これからのあなたの企業に、社会貢献と事業フィールドの場が見えてくるかも知れません。中小企業憲章の実践に向けて行動しましょう。

25 火 19:00～21:30

**青年支部
9月例会**

変わらない為に変り続ける

～中小企業だからこそ出来る時代の流れに沿った経営～

- IPホテル 福岡県福岡市博多区中洲5丁目2-18 ☎092-262-2009
- 伊原 るり子氏 株式会社 晴天（あおぞら）代表取締役（会外）

日本の従来からある葬儀（葬式）という伝統文化を守りつつ、故人、親族に対する固定観念を覆す斬新なものの考え方で、新しい葬儀社の仕組みを作り、社員の能力を最大限に活かした経営をされています。「体力はないけれど中小企業だからこそできるスピードのある経営」について報告していただきます。5年後10年後を見据えてあなたは、自社の特色を生かして新しい経営が出来ているかについて、自分自身に問いかけてもらいます。

27 木 18:30～21:00

**りょうちく支部
7月例会（大雨のため延期になった分）**

農業で笑顔伝える ～一生百笑～

- 道の駅うきは 会議室
- 田中 大輔氏 百笑倶楽部 代表者（りょうちく支部）

今回は、地元田主丸で米づくりを中心とした農業経営を営んでいる田中大輔さんに報告して頂きます。何故農業に…、植木づくりから米づくりへ…など、若さをもとに熱い情熱でこれまでの経験やこれからの夢を語って頂きます。

9月行事案内

お知らせの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

10月 19:00～21:00

**国際交流委員会
9月勉強会**

「日本から海外進出するにあたっての成功事例、失敗事例」

- エヌビーエス株式会社 福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-263-8833
- 松本 博明氏 キャリアインテグレーション株式会社 代表取締役
- 掛江 一也氏 日本がん研究所株式会社 代表取締役 (西支部)

海外で活躍する日系商人「和僑」。「和僑会」という組織をつくり協力して海外と日本をつなぎ、日本企業の海外進出や発展を支えています。近年、欧米だけでなく韓国、香港、上海、シンガポール、タイやインドなど、アジア地域に海外進出する企業が増えています。今回の勉強会では、実際に海外進出した企業の成功事例と失敗事例について学びます。

10月 18:30～20:30

**地球環境問題委員会
9月勉強会**

動き出す再エネビジネス 2020年10兆円市場へ
～日本経済活性化の起爆剤 省エネ、創エネ、蓄エネ～

- 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234
- 堀内 道夫氏 株式会社光と風の研究所 代表取締役
(東京同友会会員/静岡大学工学部 客員教授)

再エネ関連事業は、多様な業種や中小企業が参画できる裾野の広いビジネスです。日本経済活性化の起爆剤になり、基幹産業になる可能性を秘めた再生可能エネルギービジネス！その最先端でビジネスを実践中の光と風の研究所堀内社長をお招きし、今話題の小水力発電等も含めて再エネビジネスについて報告して頂きます。

11月 17:00～19:00

**NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会
9月例会**

『ソーシャル イノベーションが生み出す未来の中小企業』

- 天神パークビル会議室
福岡市中央区大名2-8-18 天神パークビル ☎092-721-5530
- 基調講演: 福岡大学商学部商学科 教授 田村 馨先生
事例報告: ジル ユーロ イワイ 代表者 岩井 公一氏 (南支部)
- 参加費 1,000円 定員 45名

「ソーシャルビジネス(地域や社会の課題をビジネスで解決しようとする考え)」の有効な事例を分析し理解することは、限られた経営資源に「この原理」を働かせ、「大企業にできない、中小企業ならではの強い経営」へと進化させる可能性があります。「中小企業版ソーシャルビジネス」のあり方を見つけ、中小企業のための未来の経営手法を共に学びませんか！

14日 18:30～21:00

**糸島の集い
第5回例会**

人を惹きつける何かがココにはある
～イノシが駆け回る山奥に、果樹農家が作った行列のできるレストラン～

- 前原公民館 2F大ホール 糸島市前原東2-2-5 ☎092-322-2481
- 杉本 利雄氏 有限会社ラビュタファーム 代表取締役 (嘉飯支部)

「人を呼ぶための広告塔として観光農園を始め、レストランを併設しましたが、シーズンオフや平日はガラガラの大赤字でした。」ところが現在、山奥にあるそのレストランは平日でもリピーターで行列ができる人気店に。「こんなところにあるレストラン」を「こんなところだからこそ行きたくなるレストラン」に変えたのは何だったのでしょうか？ 逆転の発想、紆余曲折の体験談は、色々なことに応用できるヒントが満載です。

15日 14:00～17:00

**新会員フォローアップ部会
第95回新会員フォローアップセミナー**

- 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11F ☎092-686-1234

15日 15:00開会

**北九州支部
9月例会**

『地域の活性化及び地域と連携した経済活動の促進』
～ビジネスマッチング in 熊手通り～

- 熊手通り商店街 北九州市八幡西区

15日 15:00～16日 11:00

**玄海支部
9月例会**

会員増強！退会者ゼロを目指して
『アウトドア例会』自然体感で、心も体もリフレッシュ!!

- 夢たちばなビレッジ 福岡県八女市立花町3720 ☎0943-35-0022
- 参加費 会員6,500円、ゲスト5,000円(中学生以上)、小学生3,000円

18日 18:30～21:00

**博多支部
9月例会**

同友会で学び、今スタートラインに立てた ～社員から教わったこと～

- クリオコート博多 福岡市博多区博多駅中央街5番3号 ☎092-472-1111
- 松藤 嘉美氏 アール・シー・アイ株式会社 代表取締役 (博多支部)

今回の報告者の松藤氏は、1999年2月に独立。毎年社員を増やし続けたがその関わり方に悩んでいた。そんな折に同友会に入会し、労使関係の大切さを学んだ。2012年には専務を同友会に入会させ、お互いに学び合い経営に役立てている。9月例会では、社員との関わり方や経営指針書の必要性を学び、深め合います。

18日 18:30～21:00

**かすや支部
9月例会**

厳しい経営環境の中、まずは自社の立ち位置を知ろう
～変革したい人を支援する企業変革プログラムを使ってみよう～

- 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234
- 林田 浩暢氏 合資会社 若竹屋酒造場 社長 (りょうちく支部)

同友会がこの「企業変革支援プログラム」を作成した目的・経過やその意義、更にその活用方法を、実例を交え分かりやすく報告していただきます。自社の現状を再確認し、将来に向けてどのように変わる努力をするかについて、その必要性和自己変革の実践ポイントを学びます。

18日 18:30～21:00

**筑豊支部
9月例会**

その後の中村薬局、これからの中村薬局

- ユメニティのおがた 福岡県直方市山部364-4 ☎0949-25-1007
- 中村 純一氏 有限会社中村薬局 代表取締役 (筑豊支部)

現在創業80年を越え直轄地域の薬局としては最も長い歴史を歩みながら常に新鮮な活力を失わない中村薬局中村社長から経営実践とそれを支える同友会からの学びについて報告を頂きます。

18日 18:00～21:00

**県南地区4支部合同例会
県南フォーラム**

『消費低迷の中、いかに市場創造をめざすか』
～勝ち残る戦略・戦術～

- サンハピネス(久留米)
福岡県久留米市諏訪野町2704-2(文化センター通り) ☎0942-39-5321
- 竹田 陽一氏 株式会社ランチェスター 代表取締役 (福岡支部)

19日 18:00～21:00

**東支部
9月例会**

対立から従業員の幸せ追究、そして収益向上
～全社一丸の企業づくり～

- ウィズ・ザ・スタイル福岡 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3941
- 中村 高明氏 株式会社紀之屋 代表取締役会長 (筑豊支部)

9月例会では、経営と従業員との「対立」はしょうがない事！で「一方的に抑え込む」、「そのままにしておく」は良いのか？ 成長するためには、「対立！」にどのように向き合う必要があるのか、を考えます。

19日 18:00～20:30

**福岡支部
9月例会**

みんなで語ろう！お悩み相談会
～問題解決の糸口はみんなの知恵にある～

- IPホテル 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-1491

「地域を支える主役、それは中小企業」 — 広めよう！ 生かそう！ 私たちの「中小企業憲章」 —

7月25日に中小企業憲章シンポジウムが飯塚で開催され、県下各支部の会員、飯塚市、嘉麻市、桂川町の2市1町の首長、行政や市民の方々など300名を超える集いとなりました。



開会挨拶をする鶴田和寿地区会長

7月25日、イイヅカコスモスコモンにおいて「中小企業憲章シンポジウム」が開催されました。中小企業憲章が閣議決定されて早2年、様々な所で中小企業憲章を浸透させるための活動がなされてきましたが、まだまだというところですが、しかし今回、2市1町そして各経済団体、金融機関等の多くの協力のもとに全国でも稀なシンポジウムを開催する事ができました。これだけの団体と共に開催できた事は本当に大きな成果であり、全国での運動のきっかけとなりうると考えております。

第1部 の基調講演においては

当初の予定とは変更がありましたが、中小企業庁より市川博規氏に報告いただきました。資料を使って国が行っている憲章に基づいた対中小企業の施策を説明していただきました。国は大企業ばかりをみて中小企業に対して何もしてくれないというイメージもありましたが決してそうではないことがよくわかりました。その反面、現場の中小企業と霞が関の考えにかなりの乖離がある事もよくわかりました。報告の中には「中小企業憲章が浸透しない事が問題ではなく、それに基づいた施策が広まらない事が問題」という話があり、私どもが考える中小企業憲章のあり方とは大きな差と違和感を覚えしました。中小企業憲章の理念を国や行政と再度すり合わせる必要があると感じます。

今回のシンポジウムにおいて様々な意見があると思います。それらの意見が今後の活動に生かされ、この

シンポジウムがキックオフになる事に
切に願っております。

嘉飯支部 (有)コンサルティングオフィス

重松 和孝

第2部 のパネルディスカッションでは、「地域経済発展と中小企業の役割」をテーマにコーディネーターを中山英敬代表理事、パネリストを中小企業庁事業環境部企画課市川博規係長、飯塚市経済部橋本周部長、近畿大学学生支援課助清明課長、同友会会員の有田栄公さんの4名をお迎えし活発な議論が行われました。その中で浮き彫りになった点は、まず中小企業憲章の認知度ですが、平成22年6月に閣議決定はされたものの依然低く、政府内にとどまっている状況であること。またマスコミ等で取り上げられる機会がなく、広く普及するまでには至っていない状況であることなど課題が確認されました。一方、飯塚市では、平成14年より「新産業創出ビジョン」を策定し、本年平成24年度は、ITベンチャー企業と地元企業とのビジネスマッチングを行うなど産業活性化に取り組まれています。中小企業に対して行政が中長期的かつ積極的に支援をし、地域発展を中小企業を軸に行っているという事を理解することができました。また、就職率全

国平均が70%に対して90・1%もの成果を上げている近畿大学の就職状況も報告されました。ここで興味深い点は、大学側が積極的に中小企業の実態を把握し、学生に中小企業を紹介し就職活動を個別支援している点であります。このように国、地方の政策があり、中小企業、大学でそれぞれの立場で行動していますが、一方では、それぞれが非常に単独的であるように感じられました。だからこそ、中小企業憲章の精神が反映される地域条例が必要であり、さらには地域全体で自ら主体的に実行することで地域経済がさらに発展していくのではないかと感じたシンポジウムでした。

筑豊支部 (株)ベストプラン

中川 甚広



パネラーの4名

2012年度 第4回理事会報告

■ 日時：2012年8月8日(水) 15:00～18:00

■ 出席：48名(欠席5名) 出席率：91%

■ 会場：福岡県中小企業振興センター 会議室

■ 議長：村山副代表理事

● 物故者への黙祷

□ 開会あいさつ(中山代表理事)

物販、通販等の売れ行きを確認していますが、今年5月から極端にものが売れなくなっています。調査機関のデータを取りまとめてみましたが、今、大半が「お金を運ばない」、「できるだけ働く、アルバイトをしてでもお金を稼ぐ」、「余裕ができたお金は貯蓄する」という意識になっている事がはっきりと表れました。このことは、経済活動にとっては大変なマイナスです。政策が国民の意識に沿っていないという事の表れです。

行政側は中小企業のための施策を打っているという意識です。しかし、実際の中小企業の現状を見ていないので、中小企業の現状とマッチしていない施策が多いと感じます。

現在、エコノミックガーデニングという手法(地域に根差す中小企業が育つ環境を作っていくという考え方。地域経済の活性化を、外部・大企業誘致に頼らず地域企業を育てていくことで活性化しよう)が目まぐるしく注目をされています。これは、中小企業憲章の考え方とほとんど一致しているので、憲章本部でも、取り組んでいきます。

自社の現状をしっかりと認識する時期です。そのためには、企業変革支援プログラムステップ2に取り組み、今後の戦略をしっかりと練って下さい。今日も、しっかり議論をお願いします。

■ 報告事項

1. 前回理事会以降の活動

- ① 中同協第44回定時総会(7月11日～12日 岐阜) 中野福岡地区会長、濱田南支部長、中村福友支部長(報告者)による参加報告がありました。
- ② 中同協 事務局リーダー研修 報告(三根事務局員)
- ③ 筑豊地区「中小企業憲章シンポジウム」(7月25日 飯塚) (鶴田筑豊地区会長) 開催報告がありました。312名(内同友会会員・社員・家族163名)の参加がありました。アンケートでは、記念講演の内容に一部不満もみられました。筑豊地区会として、組織的に動けたのかどうかについても今後の課題です。
- ④ 前回以降の福岡同友会、県・地区・支部活動(川畑事務局員) 資料に基づき、前回理事会以降の活動を報告。会員の参加数延べ1435名、ゲスト113名を報告。

2. 財務関係報告

- ① 総務財政室：第1四半期財務報告(長井財政室長)
- ② 同友名鑑広告募集 広告掲載の協力依頼がありました。

3. 会員企業の動き(川畑事務局員)

- ① 経営革新計画認定企業報告 7月の承認企業25社だったが、うち会員企業は2社と報告。
- ② マスコミ報道の報告

4. 対外活動(川畑事務局員)

- ① 福岡県中小企業振興センターより「中小企業経営革新セミナー」名義後援依頼承認
- ② 第14回福岡県産業デザイン賞、応募作品募集の案内
- ③ 九州地区就職指導研究協議会「企業と大学就職セミナー」案内
- ④ 福岡県保険医療介護部「がん検診推進委員参加企業募集」案内
- ⑤ 福岡ものづくり産業振興会議「福岡ものづくりシンポジウム2012」案内

■ 審議事項

1. 北部九州豪雨被害の状況と見舞金について(中山代表理事)

緊急アンケートの調査結果報告がありました。また、組織運営規定第14章⑤により、アンケートにより被害が判明している14名の方へ、見舞金を送ることが提案され、承認されました。

2. 青年部連絡会設置について(中村代表理事)

中同協の青年部連絡会運営委員会設立に伴い、福岡同友会青年部連絡会を設置することが提案されました。準備委員会には、40歳未満の会員を、各支部より1名選任し地区幹事会より推薦をお願いしたいと要請があり、承認されました。推薦期限(8月31日まで)

3. 理事会代理出席者登録名簿追加(川畑事務局員)

名簿に沿って追加の方の提案があり、承認されました。

4. 役員選考委員長選任および役員選考委員会設置(中山代表理事)

役員選考規定にもとづき、岩本前代表理事を、役員選考委員長とするよう正副代表理事会議より提案があり、承認されました。承認された岩本役員選考委員長より、役員選考委員会を招集したい旨、提案がありました。「役員選考委員を、各地区から2名 委員長より2名の合計10名と委員長の11名で委員会を発足したいと思います。各地区会・委員長より推薦していただく締め切りは、8月30日までとします。基本的には、参加できる方をお願いしたい」と要請がありました。

5. 名誉会員の申請(林りょうちく支部長代行)

りょうちく支部 佐藤千澄氏(会歴27年7ヶ月、年齢70歳)の名誉会員の推薦があり、承認されました。

■ 協議事項

1. 会員増強のとりくみ(田浦代表理事)

- ① 6月会員数(福岡・全国)、7月入会者、退会者、退会申し出者 期首からマイナス39名の1964名の会員数を確認しました。
- ② V90の推進 現在、笠置チームが6名の増強をしています。リーダー、メンバーともに協力し、知恵を出し合って取り組んでいきましょう。
- ③ 各地区、支部での進捗状況 濱田南支部長、市丸ひびき支部長、廣岡嘉飯支部長、渡木役員研修室長代理より報告。
- ④ プレ全研の開催と増強担当者決起会について 本日理事会終了後、会議を行い、内容を詰める事としました。尚、開催日が10月29日に変更になりました。
- ⑤ 会員満足度調査アンケート一時集約結果について 入会年数別の集計結果(一次集計)が報告されました。今後更に分析を深めていきます。

2. 創立50周年事業

- ① 東日本大震災復興支援CD「SMILE AGAIN」最終報告(中村代表理事) 岐阜での全国総会の際に、中同協へ義援金(5,424,112円)をお渡ししました。被災三県(岩手・宮城・福島)同友会へ7月19日に振り込まれました。現地からお礼状が届いたことが報告されました。
- ② 第43回中小企業問題全国研究集会実行委員会(樋口実行委員長) 中同協より依頼があり、見学分科会を2つ(鍾川さん、吉原さん)にすることとなりました。また、人を生かす経営として、セイワシステムの清家さん、産学連携はFASTが分科会を担当します。よって、福岡担当の分科会は、4つになりました。

第1回の全体全研実行委員会を、9月理事会終了後(9月12日、18時30分より)に開催しますので、是非ご参加ください。

- ③ 創立50周年記念総会式典にむけて(中野実行委員長) 資料に基づき、概略の説明がありました。今後さらに検討し、次回確認することとしました。
- ④ 創立50周年記念誌進捗状況(貞池実行委員長) 作成業者を決めているところです。8月28日にコンペを行うことが報告されました。

3. 本部・室・委員会関係

- ① 役員研修室：第18期役員研修大学の参加促進(渡木室長代理)
- ② バリアフリー委員会8月勉強会案内(三輪委員長)
- ③ 地球環境問題委員会9月勉強会案内(末竹委員長)
- ④ 同友すばる特別委員会「事業承継塾第2講」案内(白石委員長)
- ⑤ NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会 9月例会のご案内(大石委員長代理)
- ⑥ 福岡県商工部との懇談会開催について(石蔵政策金融室長)
- ⑦ 第1回経営指針フォローアップ会について(中村代表理事)

4. 地区活動(中山代表理事)

- ① 福岡、県南地区より提案事項 いずれも予算や財政にかかわることなので、いったん総務財政室で検討して、来月の理事会で協議することが報告されました。

5. 中同協行事への参加要請

- ① 組織問題交流会(8月23日～24日・東京)(田浦代表理事)
- ② 広報情報化交流会(9月6日～7日・大分)(貞池広報室長)
- ③ 障がい者問題全国交流会(9月13日～14日・大阪)(川畑事務局員)
- ④ 青年経営者全国交流会(10月4日～5日・島根)(林田副代表理事)

6. e.doyuの更新について(貞池広報室長)

9月20日に新しいe.doyuの説明会を開催します。ぜひ参加を。

7. 希望者全員65歳雇用対策セミナー進捗状況(北原推進委員長)

□ 閉会あいさつ(中村代表理事)

7月31日に閣議決定された「日本再生戦略」では、グリーン(エネルギーと環境)、ライフ(健康)、農林漁業(6次産業化)がキーワードになっています。その中では初めて中小企業の活力を最大限生かし、中小企業活力を倍増することが盛り込まれています。開業率を廃業率より上回らせ、若者や女性の起業を増やすことが提起されています。また、小さな企業に光を当てた施策もあります。

さらに、金融機関との取引を約定どおり行った場合、経営者個人保証制度の見直しを行うことが書かれました。画期的なことといえます。また改革行程表でも、PDCAを回すことあり、中小企業憲章の精神が一定反映されたと思います。是非、皆様もインターネットで内容をご覧ください。今後も政権が代わっても、きちんと引き継がれるよう働きかけていく事が求められます。

第3回理事会報告 訂正

報告事項 3. 対外活動 ⑤に記載された「部落開放共闘九州ブロック県民会議・部落開放共闘福岡県民会議」について誤記がありました。正しくは「部落解放共闘九州ブロック県民会議・部落解放共闘福岡県民会議」です。



月刊

同友

554号

2012年9月1日《毎月1回・1日発行》

平成9年3月14日第3種郵便物認可
頒価/3800円(年間4,500円)送料込み会員の購読料は会費に含まれます。


九州銘菓 草木 饅頭

郷風蒸菓 総本家 黒田家

本社 / 福岡県大牟田市大字草木177 ☎(0944) 52-5707
草木本店 ☎(0944) 51-5555 新栄町店 ☎(0944) 54-7728 駅前店 ☎(0944) 56-9373
福岡市内での販売所 福岡空港第2ターミナル全日空商事 福岡三越 地下2階・菓遊庵

株式会社 坂口建設産業

取締役専務 坂口 宗則



福岡県大牟田市橘921-4
TEL: 0944-41-7011
FAX: 0944-41-7013

有限会社

ドン・ド・ミー

代表取締役

金森 信吾

〒836-0805

福岡県大牟田市通町 1-5-8

TEL 0944-55-5300

FAX 0944-55-5305

<http://www.dongurinoki.jp/>

自動車部品販売
携帯電話販売
油圧ホース関連



(株)平尾自動車商会

取締役 平尾 恭一
Kyouichi Hirao

本社 〒836-0802 福岡県大牟田市日出町 2-1-9

Tel: 0944(56)2111 Fax: 0944(55)4354

荒尾営業所 〒864-0004 熊本県荒尾市宮内浦川 1153

Tel: 0968(62)3111 Fax: 0968(62)2374

玉名営業所 〒865-0065 熊本県玉名市築地 98

Tel: 0968(73)6111 Fax: 0968(73)6113

機工部 〒836-0802 福岡県大牟田市日出町 2-2-15

Tel: 0944(55)4010 Fax: 0944(55)4123

HJS 〒836-0011 福岡県大牟田市健老町 450-2

リサイクルセンター Tel: 0944(43)6882 Fax: 0944(43)6887

auショップ 〒836-0807 福岡県大牟田市旭町 2-28-1

ゆめタウン大牟田 Tel: 0944(52)6100 Fax: 0944(52)6101



九州住宅開発

お部屋探しの専門店

おかげさまで創業36周年



後継者

平田 宗徳

〒836-0831 大牟田市泉町 1-1

TEL: 0944-52-8882 FAX: 0944-52-8892

URL: <http://kyusyu-jyutaku.com>e-mail: hirata@kyusyu-jyutaku.com

有限会社 野口食品

代表取締役

野口 大輔

〒836-0811 大牟田市八尾町3-32-10

TEL 0944-56-2030

FAX 0944-52-6161



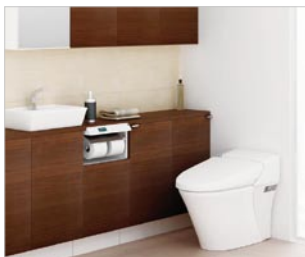
水と空気を考える
濱田設備

代表 濱田 満広

〒832-0827 柳川市三橋町蒲船津515-11

TEL 0944-74-1871

FAX 0944-74-1871



You jido-sha

代表取締役
久保田 洋
くぼた 洋



九州陸運局認証工場 第1-5050号

- 有限会社 ユー自動車
- 携帯 090-9722-3729
- 〒837-0912 福岡県大牟田市白銀296
- TEL 0944-58-7653 FAX 0944-58-7970



大福商事株式会社

菓舗 レストラン だいふく

代表取締役社長

江戸 健二郎

本社 〒836-0842 大牟田市有明町2丁目1番地3号

電話 0944-53-3333(代) FAX 0944-52-5450



シミ抜き・丸洗い・洗い張り・仕立て・紋入れ
その他 和装に関することは何でもご相談ください

ちきり屋

836-0852 福岡県大牟田市曙町8-13

TEL 0944 - 57 - 4498

E-mail: tikiriya-kimonobisei@circus.ocn.ne.jp

森 惣紀

福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

福岡県中小企業振興センタービル11F

TEL: 092-686-1234 FAX: 092-686-1230

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索

環境を守るため再生紙を使用しています。